

山口 敏子 議員



公共施設にあるバス停留所にベンチの設置を

問

【コミュニティバス】関連記事9・11面を聞く。

(1) 土地に余裕があるバス停に、ベンチの設置はできないか。

(2) 公共の場所でも（ベンチの設置は）無理か。

(3) 急行便と普通便のダイヤを組み替え、今まで通っていない所を通る方法もあるのではないか。

(4) 新しく車両を入れ替える場合は、桑名市の公共バスのサイズが（小型で）よいのではないか。

乗り継ぎ拠点は検討を予定

答 防災安全課長

(1) 交通安全上や法の関係があり、設置は非常に難しい。

く、现阶段では考えていない。

(2) 乗り継ぎ拠点とか、いろいろな問題で討議されていくと思う。

(3) バス増設は、極端な場合本数減少につながる場合もあるので、慎重に検討したい。

(4) 9月に乗降調査を行い、実際にどの大きさのバスが適切か判断できる。それを考慮しながら検討したい。

グッズを利用した金魚のPRを

問

弥富の名産の金魚を次世代まで伝えるため、金魚に

関する商品をPRしてはどうか。

グッズPRを今後とも頑張る

答 企画政策課長

企画政策課ではストラップ、かばん、子ども向けのシール、クリアアーファイルを製作しており、イベント等に記念品として配布し、全国に向けた市のPRを今後とも頑張っていく。

子どもに下水処理施設の見学を

問

日光川下流浄化センター【 】を子どもの社会見学に入れてはどうか。

広域公共下水道の汚水を浄化する県施設。3月末に供用を開始した。

計画処理区域は海部地区内（一部地域を除く）約6千ha、処理人口は約32万人で、21年度までの総事業費は約460億円。上野地内に位置する。

各学校に紹介していきたい

答 教育課長

児童にとって身近な見学先の候補地であり、各学校には紹介していきたい。



日光川下流浄化センターを見学する議員たち【6月21日】